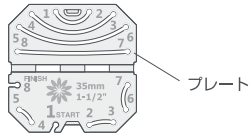


つまみ細工プレート

剣つまみ SS

作り方説明書

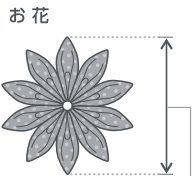


プレート

はじめに...

1枚の布から花びら1枚が作れます。

花びらを数枚縫いつなぐと、お花ができあがります。お好みで花びらの数を調節してください。



<SS> 約3.5cm
※使用する布や作る花びらの枚数によって変わります。

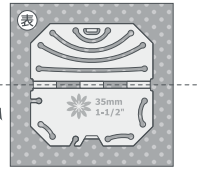
花びら

① プレートに布地をはさみ、カットします。

① プレートを布地にかさね、折り込みます。

布の用尺
約5.5cm角

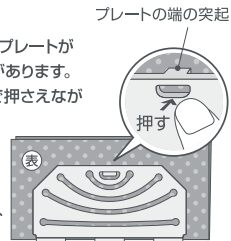
※ 布地にしわがよらないように気を付けます。



② プレートの端の突起部で布地をはさみ、固定します。

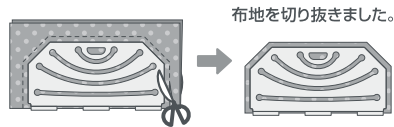
※ 布地によっては、プレートが開いてくる場合があります。その場合は、手で押さえながら使います。

プレートの奥までしっかり布をはさみます



③ プレートに沿って、布地を切り抜きます。

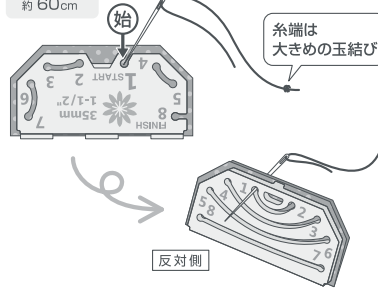
※ ぬいしろは必要ありません。



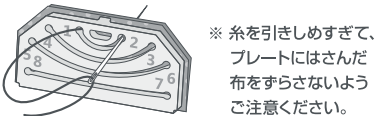
② プレートの番号順に、長穴に糸を通します。

① 裏返して「1 START」位置の穴に針を入れ、反対側の長穴の「1」位置に針を出します。

糸の長さ
約60cm



② 同じ長穴の「2」位置に針を入れ、糸がたるまないように引きます。



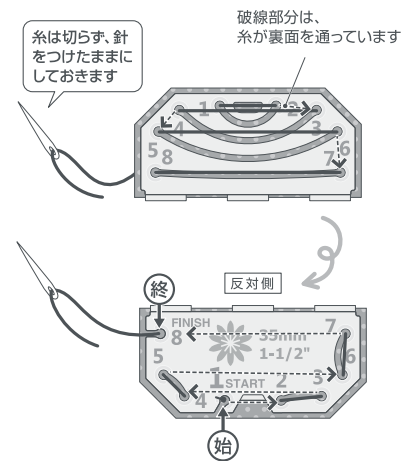
注意!

糸がたるんでいると、糸がからまる原因になります。



③ 続けて、番号順に長穴に糸を通していきます。

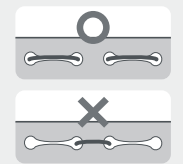
※ 順番を間違えた場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。



チェックポイント

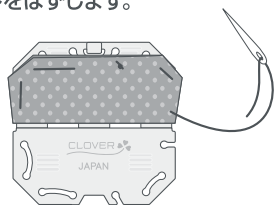
縫い目は長穴の内側を通ります。

縫い目がプレートをまたいで、別の長穴に通っている場合は間違いです。

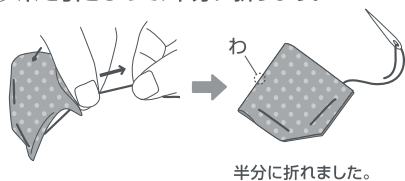


3 プレートをはずし、花びらの形を整えます。

① プレートをはずします。

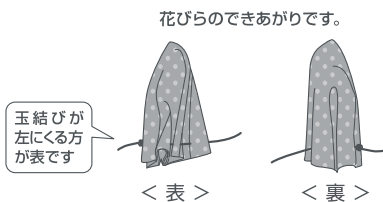


② 糸を引きしめて、半分に折ります。



半分に折れました。

③ さらに糸を引きしめて、ひだをよせます。



花びらのできあがりです。

玉結びが
左にくる方
が表です

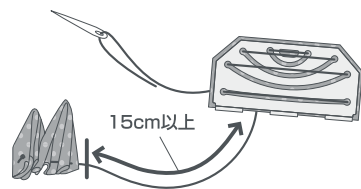
< 表 >

< 裏 >

4 続けて花びらを作り、お花を作ります。

① 同じ糸を使って、①～③をくりかえし、必要な数の花びらを作ります。

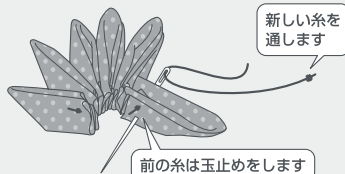
糸がからまらないように、できあがった花びらとプレートは15cm以上離します。



※糸がからまった場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。

糸が途中で足りなくなったら・・・

糸が途中で足りなくなった場合は、糸を引きしめて玉止めをします。最後に作った花びらの根元に新しい糸を通し、続けて花びらを作ります。



新しい糸を
通します

前の糸は玉止めをします

② 最初の花びらの根元に針を通し、糸を引きしめ、玉止めをします。



お花のできあがり

中心にボタン等をつけたり、

裏返しても使えます

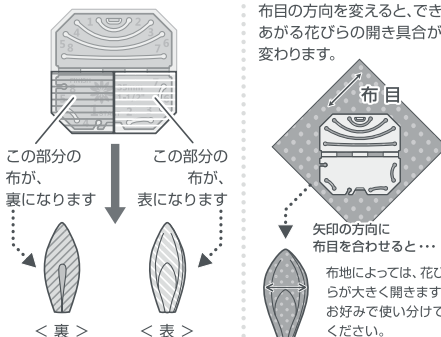
花びらの数を変えてアレンジできます。

ボタンをつけたり

花びらの数を変えたり

柄合わせをしたい場合

布目の方向を変えると・・・



布目の方向を変えると、できあがる花びらの開き具合が変わります。

布目

矢印の方向に布目を合わせると・・・

布地によっては、花びらが大きく開きます。お好みで使い分けてください。

準備する材料 (10枚の花びらのお花を作る場合)

花びら1枚分の布の用尺 × 花びらの枚数(10枚)	約 5.5cm 角 × 10枚
糸の長さ ※ キルト糸などの丈夫な手ぬい糸	約 60cm

○ 適する布

薄地～普通地のやわらかい布

シーチング、ブロード、サテン、ちりめん、オーガンジー、シフォン など

✕ 適さない布

中厚～厚地、硬い布、目の粗い布

デニム、キャンパス、フェルト、厚地ウール、コーデュロイ、パイル、ニット地、皮革及び合成皮革、コーティング加工布、レース など

使用上の注意

- ・本体は高温により変形しますので、アイロンなどのご使用はお避けください。
- ・過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となりますので、厚地や硬い布地のご使用はお避けください。
- ・長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管してください。

⑤ 本製品や作り方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

081402

クローバー株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」 TEL. (06)6978-2277